

# 北九州循環経済研究会 最終報告会 ～エネルギー循環パート～

## 北九州市環境局再生可能エネルギー導入推進課



環境局再生可能エネルギー導入推進課

### 1 解決すべき地域・社会課題

- 電力需要量に対して再エネ発電量が不足
- 再エネは不安定な電源（発電量・価格）
- 再エネの出力制御が頻繁に発生
- 安定化のために利用する蓄電池のコスト高
- 再エネ100%電力のコスト高

#### 【今後のエネルギー戦略の狙い】

- ・ 再エネが抱える課題を解決しながら、
- ・ 集積した再エネを利活用して、
- ・ 再エネを安定的かつ安価に供給することで、

**市内に立地する企業の競争力を高める**

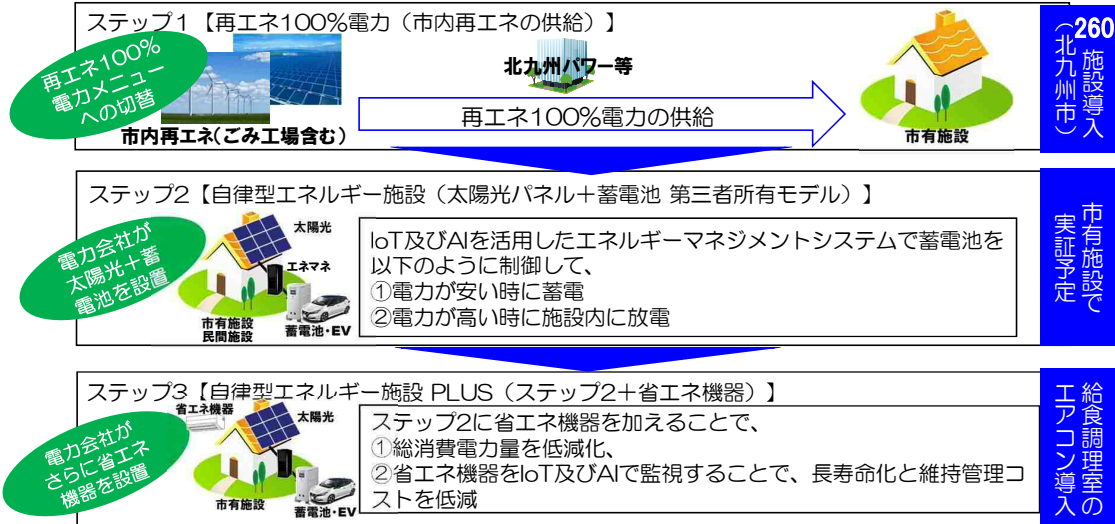
施策の柱

- ① 「再エネ100%北九州モデル」の構築と「蓄電システム先進都市」の実現
- ② 率先垂範として2025年度までの市内公共施設再エネ100%電力化の達成
- ③ 北九州都市圏域での脱炭素の推進

## 2 再エネ100%北九州モデル

「再エネ100%北九州モデル」の導入目的

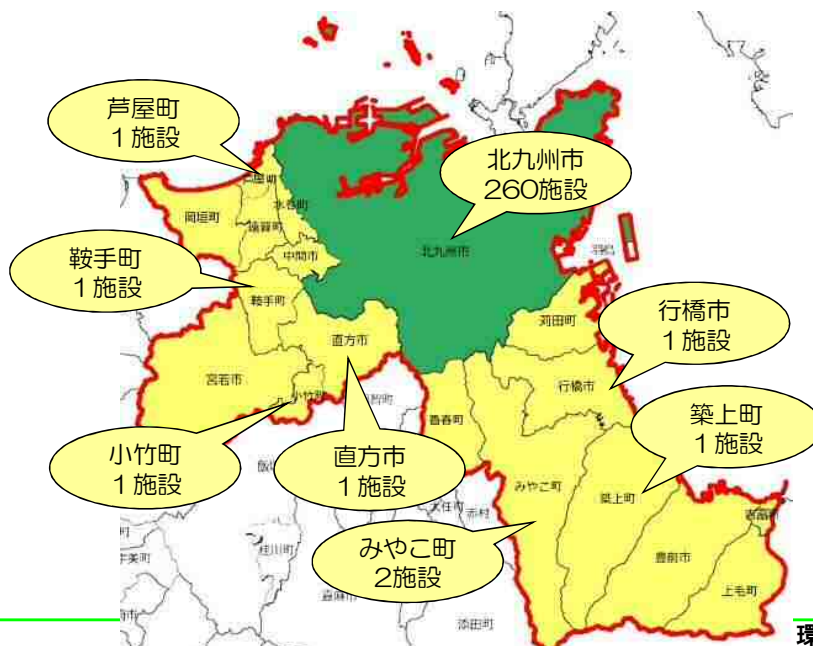
- 太陽光パネルや蓄電池、エアコンなどの省エネ機器を電力会社が設置する、いわゆる「第三者所有方式」で、再エネの導入と省エネ対策を図るもの。
- また、IoTやAIを活用したエネルギーマネジメントシステムを導入し、最適な運用や維持管理を行うことで、再エネ電力価格の低減を実現して、機器の長寿命化を図り、サーキュラーエコノミーにも貢献するモデルである。



環境局再生可能エネルギー導入推進課

## 3 北九州都市圏域での再エネ100%電力の導入状況

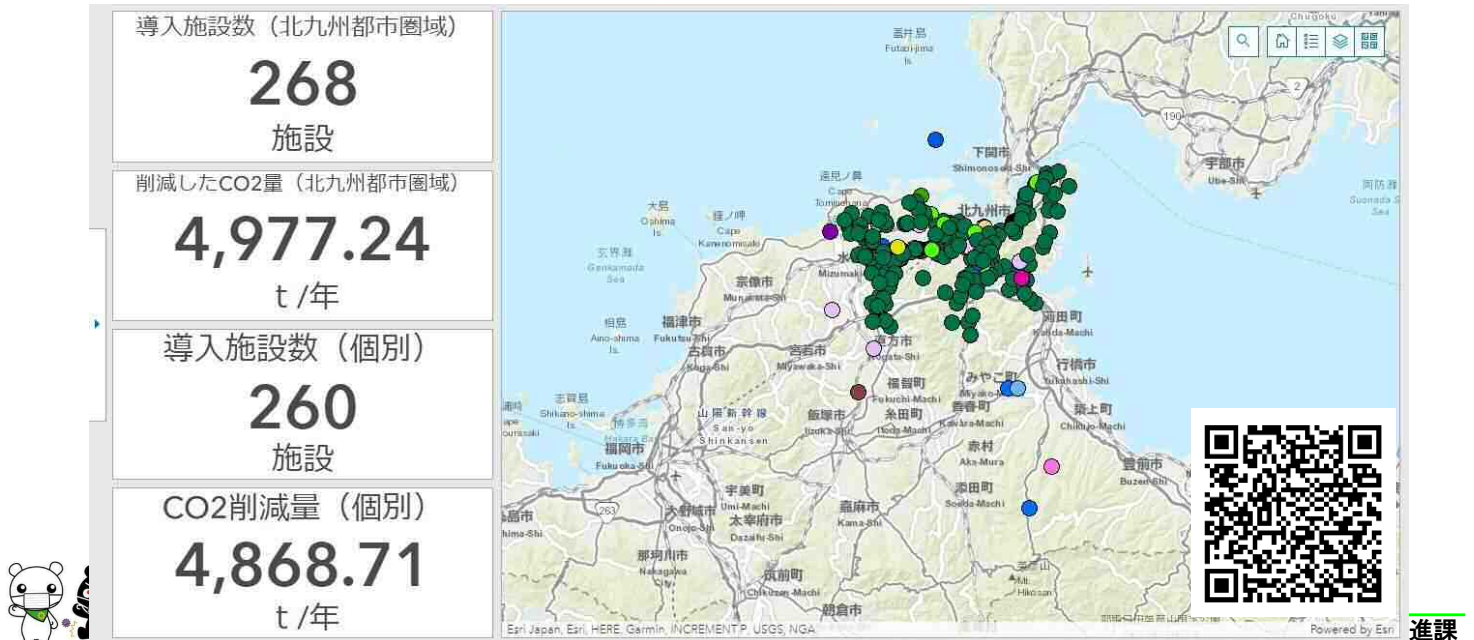
北九州都市圏域での公共施設の再エネ100%電力を  
**268施設**で導入開始 2022/2/7現在



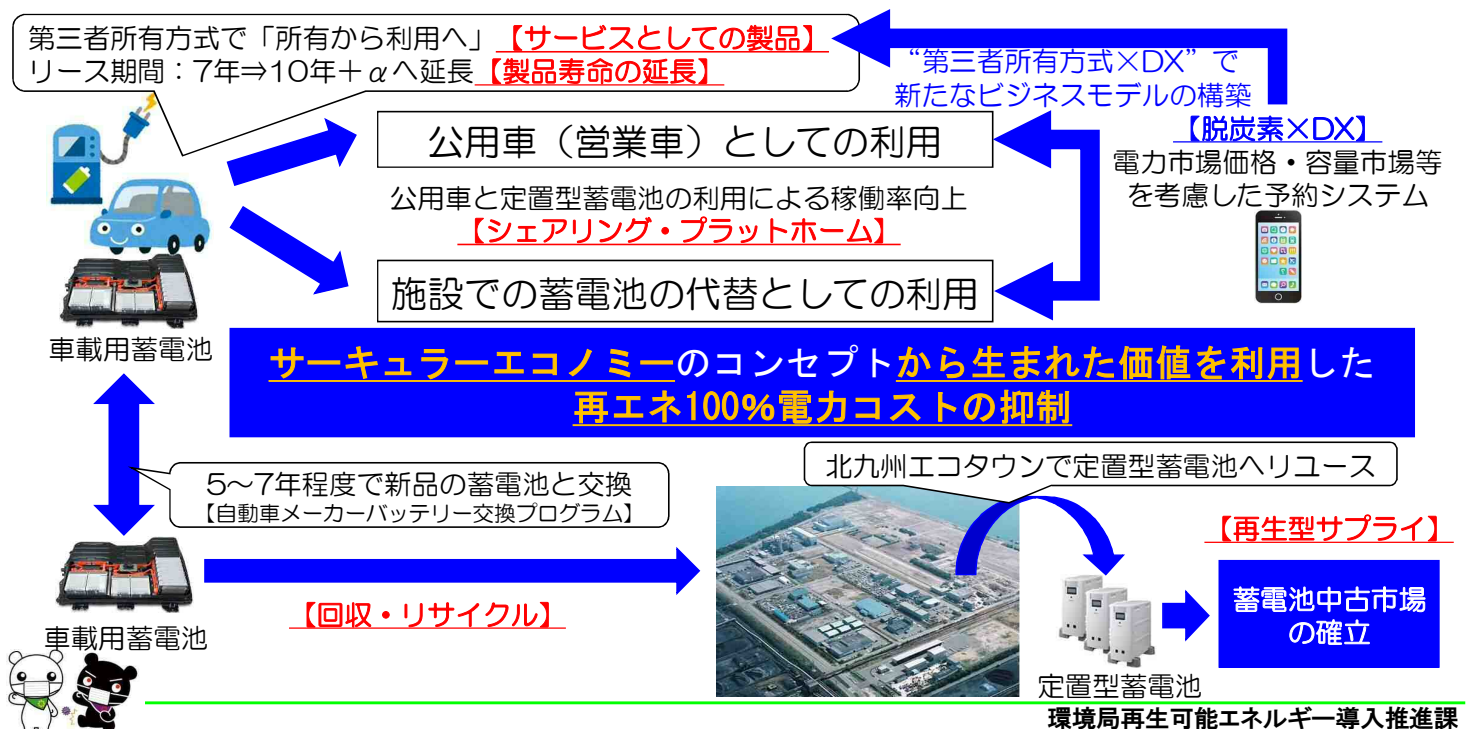
環境局再生可能エネルギー導入推進課

公共施設の再エネ100%電力化によるCO2削減量の見える化

2022/2/7現在



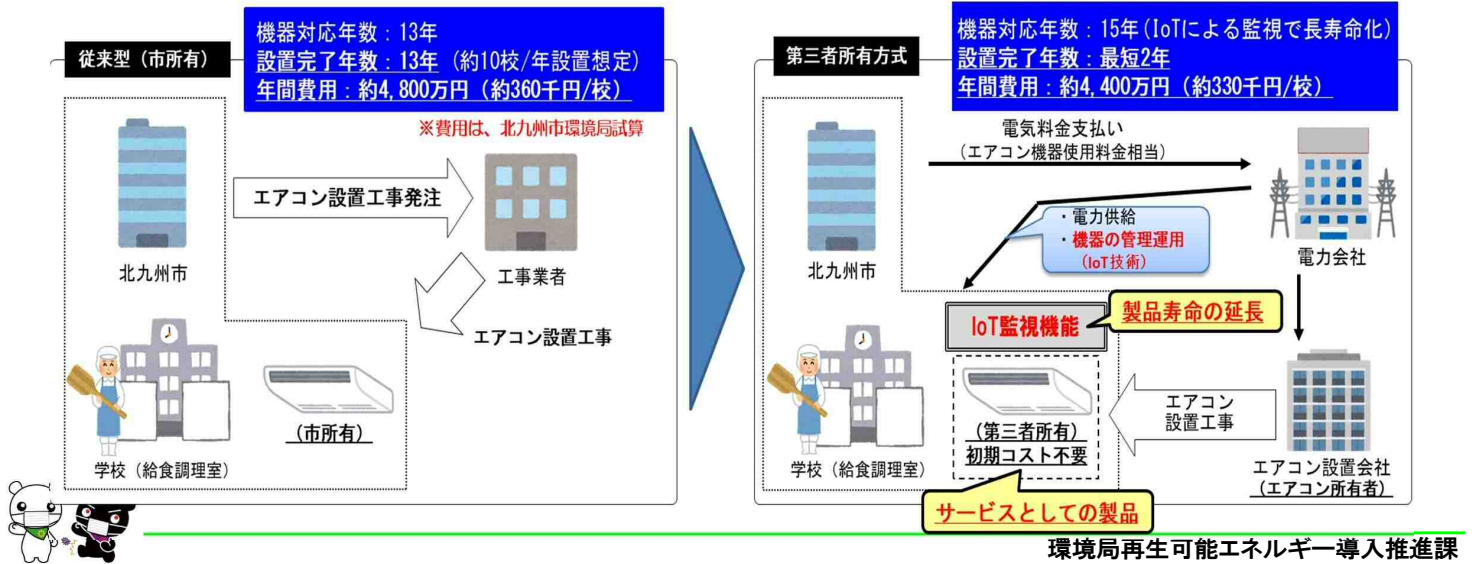
5 サーキュラーエコノミーの5要素で生み出した価値を利用した価格抑制の考え方



## 6 給食調理室のエアコン導入の考え方

### 【目的】

- 熱中症予防など給食調理室の労働環境改善を図る観点から、給食調理室（約120校）に、「**第三者所有方式**」で、IoT監視機能を有するエアコンを導入
- エアコンの動作環境を常に把握することで、最適な維持管理を行い、**機器の長寿命化（+2年）**を実現し、導入・維持管理コストを抑制



## 7 北九州都市圏域の再エネ100%電力化の取組ページ

北九州都市圏域の再エネ100%電力化の取組ページを作成してPRしています！  
随時更新していますので、最新情報をこちらのページからご覧ください！



### 北九州市 脱炭素電力認定制度

北九州市が全公共施設を再エネ100%電力化する2025年度までをターゲットに、再エネ100%電力をはじめとする脱炭素電力を導入した市内企業を市が認定します。

申請はこちら

